



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 24 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 5～6 月
3. 出張目的 平成 23 年度主要普及成果である稲作技術のマニュアルの追跡調査及び今後の普及・展開方法についての意見収集：B

4. 成果の概要

- (1) マニュアルの利活用状況や今後の普及・展開方法について、ガーナ国食糧農業省 (MoFA) のノーザン州、アッパーイースト州及びアッパーウエスト州の各事務所の担当者 (Crop Officer) 及び普及員 (Extension officer) 等に対し、聞き取り調査を実施。
各州とも、マニュアルの内容を理解、評価するとともに、関係部署に配布し普及に努めている状況が確認できた。また、マニュアルのリーフレット化や紹介されている機器についての詳細の情報の追加等の改善要望、及び政府予算、普及に係る人的資源の不足等の稲作普及上の課題についての情報についても、聞き取ることができた。
- (2) 担当サブプロジェクトの実施課題「稲作普及」のモデルサイト候補地である Nwogu 村で、ダッグアウト(小規模ため池)の現況を確認するとともに、同村の Leader および村民(農民)代表者への説明会に参加。
ダッグアウトの稲作かんがい利用に関する検証サイトとしての適性を確認するとともに、農民の検証への協力に対する了解についても確認した。